



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 プレステージ・インターナショナル
コード番号 4290 URL <http://www.prestigein.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 玉上 進一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 中山 克哉

TEL 03-5213-0826

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	17,727	9.3	2,160	4.7	2,131	11.3	1,420	△1.7
26年3月期第3四半期	16,212	△10.4	2,063	24.3	1,914	22.8	1,445	61.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 2,220百万円 (32.6%) 26年3月期第3四半期 1,674百万円 (46.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	46.12	45.38
26年3月期第3四半期	47.96	46.95

当社は平成25年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	21,625	15,469	71.1
26年3月期	18,613	13,466	72.0

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 15,380百万円 26年3月期 13,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	5.00	—
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、26年3月期における期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	8.0	3,000	6.8	3,100	14.6	2,050	3.4	66.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	30,919,000 株	26年3月期	30,729,600 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	60 株	26年3月期	60 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	30,806,251 株	26年3月期3Q	30,132,352 株

当社は、平成25年10月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数(自己株式を含む)及び期末自己株式数並びに期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は平成27年2月2日(月)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期(平成26年4月1日～平成26年12月31日)における日本経済は、消費税引き上げ後の個人消費の持ち直しが弱く、急激な円安により回復が鈍化するも、企業収益の改善など緩やかな回復基調にあります。

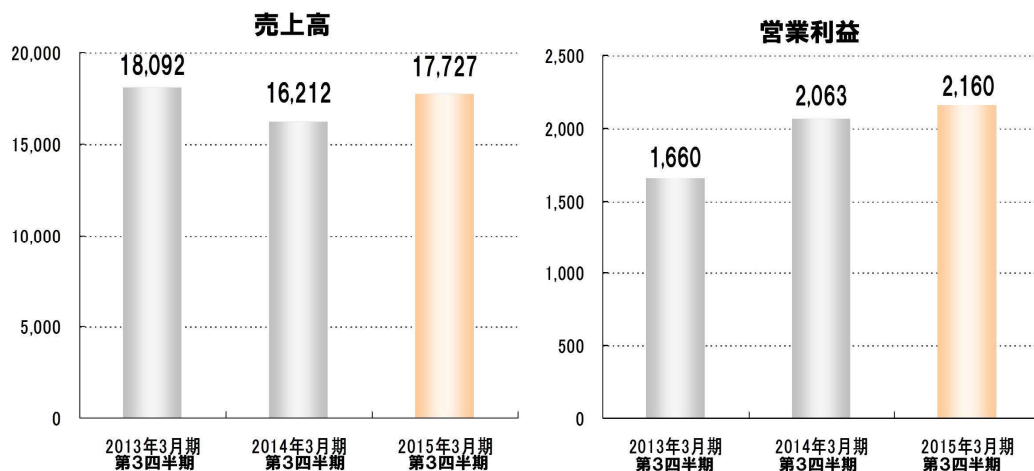
世界経済については、米国では堅調な成長を続けるものの、欧州景気の低迷と原油価格の下落により、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような環境の下、グループ全体としましては、中期事業方針の通り、国内においては秋田BPOキャンパス・山形BPOガーデン・富山BPOタウンの3拠点運営に向けた体制構築、海外においてはインシュアランスBPO事業における業務拡大に備えた体制強化に注力してまいりました。

当第3四半期の連結売上高に関しては、主にロードアシスト事業及びインシュアランスBPO事業において既存受託業務を中心に事業が堅調に拡大したことにより17,727百万円(前年同期比9.3%増)となりました。営業利益につきましては、当社グループのサービスを支える人材に関して適正人員の確保に取り組むと同時に効率化などの原価抑制を行った結果、2,160百万円(前年同期比4.7%増)となりました。経常利益につきましては、主に持分法投資利益127百万円の計上により、2,131百万円(前年同期比11.3%増)となりました。なお、当第3四半期純利益は、1,420百万円(前年同期比1.7%減)となっております。

	前第3四半期	当第3四半期		参考 前連結会計年度
売上高	16,212百万円	17,727百万円	(前年同期比9.3%増、1,514百万円増)	22,223百万円
営業利益	2,063百万円	2,160百万円	(前年同期比4.7%増、96百万円増)	2,809百万円
経常利益	1,914百万円	2,131百万円	(前年同期比11.3%増、217百万円増)	2,704百万円
四半期(当期)純利益	1,445百万円	1,420百万円	(前年同期比1.7%減、24百万円減)	1,981百万円
1株当たり当期純利益	47.96円	46.12円		65.59円

当社は平成25年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。



下記、事業分類別の売上高ならびに営業利益の実績は、平成26年4月に実施した新事業分類別変更に基づき算出しております。また、前第3四半期の実績も新事業分類別変更に基づき遡及しております。これらは、下記の通り事業の特性を考慮し、事業の名称・分類変更及びサービスの変更を行っております。

<名称変更・分類変更>

旧：インシュアランス事業 新：「インシュアランスBPO事業」、「ワランティ事業」に分割
 旧：CRM事業、カード事業 新：「カスタマーサポート事業」へ統合
 旧：IT事業 新：「ITソリューション事業」へ名称変更

<サービス変更>

旧：「クレームエージェントサービス」「ヘルスケア・プログラム」：インシュアランス事業からインシュアランスBPO事業へ
 旧：「延長保証・メンテナンスプログラム」「家賃保証プログラム」：インシュアランス事業からワランティ事業へ
 旧：「事故受付業務」：一部プログラムをCRM事業からロードアシスト事業へ
 旧：「通所介護支援サービス」インシュアランス事業から派遣・その他事業へ

● ロードアシスト事業

主に損害保険会社や自動車メーカー向けにロードサービスを提供しているロードアシスト事業は、認知度の向上及びサービス利用増加など既存受託業務が順調に拡大したため、増収となりました。

営業利益につきましては、サービス利用に伴う費用の抑制やシステム化による手配工数削減などが奏功し、増益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	5,581百万円	6,216百万円
営業利益	558百万円	801百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+634百万円	+11.4%
営業利益	+242百万円	+43.3%

● プロパティアシスト事業

分譲・賃貸マンション・戸建ての占有部の一次修繕とコインパーキングのメンテナンスを提供するプロパティアシスト事業は、主に不動産向けサービス(ホームアシスト)における既存受託業務の成長により、増収となりました。

営業利益につきましては、主にフィールドワーク専門子会社における機能強化のための先行投資が発生したため、減益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	1,864百万円	2,043百万円
営業利益	130百万円	102百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+178百万円	+9.6%
営業利益	-28百万円	-21.5%

● インシュアランスBPO事業

保険に関するサービスを提供しているインシュアランスBPO事業は、海外関連事業(クレームエージェントサービス、ヘルスケア・プログラム)が堅調に拡大したことにより、増収となりました。

営業利益につきましては、事業は堅調に推移したものの、海外拠点の拡充などの先行投資が発生したことなどから、減益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	1,778百万円	2,119百万円
営業利益	258百万円	235百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+340百万円	+19.1%
営業利益	-22百万円	-8.8%

● ワランティ事業

保証に関するサービスを提供しているワランティ事業は、自動車延長保証・メンテナンスプログラムにおける既存受託業務の終了などにより、減収となりました。

営業利益につきましては、主に自動車延長保証・メンテナンスプログラムにおける既存受託業務の終了と新規プロジェクトの立ち上げによる費用増加の影響により、減益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	2,318百万円	2,117百万円
営業利益	217百万円	116百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	-200百万円	-8.7%
営業利益	-101百万円	-46.7%

● ITソリューション事業

ITソリューション事業におきましては、IT関連子会社において、既存受託業務が堅調に推移し、増収となりました。

営業利益につきましては、新規事業の立ち上げによる費用増加の影響により、減益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	636百万円	728百万円
営業利益	99百万円	73百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+92百万円	+14.5%
営業利益	-25百万円	-25.5%

● カスタマーサポート事業

国内のカスタマーコンタクトサービスと日本人駐在員向けクレジットカードサービスを展開しているカスタマーサポート事業は、主に日本人駐在員向けクレジットカードサービスが安定的に推移したことが寄与し、増収となりました。

営業利益につきましては、カスタマーコンタクトサービスにおいて、事業の「選択と集中」により、一部業務を終了しましたが、原価管理の徹底が奏功し、増益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	3,479百万円	3,839百万円
営業利益	735百万円	739百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+360百万円	+10.4%
営業利益	+3百万円	+0.5%

● 派遣・その他事業

派遣・その他事業におきましては、株式会社プライムアシスタンスに対する人材派遣業務が好調に推移し、増収となりました。

営業利益につきましては、売上高の拡大と間接費用の抑制により、増益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	552百万円	661百万円
営業利益	62百万円	91百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+109百万円	+19.8%
営業利益	+29百万円	+46.8%

(2) 財政状態に関する説明

[財政状況]

当第3四半期末における総資産は、21,625百万円となり前連結会計年度末に比べ3,012百万円増加となりました。流動資産は、現金及び預金が695百万円増加、有価証券が332百万円減少、立替金が388百万円増加し、流動資産は663百万円増加いたしました。固定資産については、前連結会計年度末に比べ2,348百万円増加いたしました。

負債に関しましては、短期借入金が175百万円増加、未払法人税等が449百万円減少、流動負債のその他が946百万円増加、長期借入金が525百万円増加となりました。これらにより負債合計では前連結会計年度末より1,008百万円増加し、6,156百万円となりました。

また、純資産については、配当の支払いが平成26年6月及び12月に発生いたしました。四半期純利益が1,420百万円であったため前連結会計年度末に比べ2,003百万円増加しております。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,503,630	7,199,008
受取手形及び売掛金	2,833,136	2,740,755
有価証券	465,670	133,565
商品及び製品	22,639	22,795
原材料及び貯蔵品	4,941	4,453
立替金	2,269,247	2,657,471
その他	1,104,681	1,111,780
貸倒引当金	△66,515	△68,581
流動資産合計	13,137,431	13,801,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,566,805	2,450,548
その他(純額)	666,640	2,743,131
有形固定資産合計	3,233,446	5,193,680
無形固定資産		
その他	789,333	800,002
無形固定資産合計	789,333	800,002
投資その他の資産		
その他	1,503,873	1,885,034
貸倒引当金	△50,295	△53,992
投資その他の資産合計	1,453,577	1,831,042
固定資産合計	5,476,357	7,824,725
資産合計	18,613,788	21,625,973

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,175,660	1,127,107
短期借入金	100,000	275,000
未払法人税等	710,990	261,098
賞与引当金	377,564	244,227
その他	2,205,516	3,152,128
流動負債合計	4,569,731	5,059,561
固定負債		
長期借入金	—	525,000
退職給付に係る負債	83,282	2,709
資産除去債務	357,634	359,854
その他	136,888	209,369
固定負債合計	577,805	1,096,933
負債合計	5,147,536	6,156,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,125,877	1,165,205
資本剰余金	694,758	734,087
利益剰余金	10,936,083	12,048,720
自己株式	△41	△41
株主資本合計	12,756,678	13,947,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	170,985	204,678
為替換算調整勘定	466,270	1,227,713
その他の包括利益累計額合計	637,256	1,432,392
新株予約権	9,839	23,660
少数株主持分	62,477	65,452
純資産合計	13,466,251	15,469,478
負債純資産合計	18,613,788	21,625,973

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	16,212,612	17,727,087
売上原価	12,407,508	13,566,376
売上総利益	3,805,103	4,160,711
販売費及び一般管理費	1,741,566	2,000,567
営業利益	2,063,537	2,160,143
営業外収益		
受取利息	4,247	5,436
有価証券利息	21,814	24,135
受取配当金	8,630	9,591
持分法による投資利益	6,370	127,148
その他	6,183	14,532
営業外収益合計	47,246	180,844
営業外費用		
支払利息	696	369
為替差損	171,996	203,642
その他	23,575	5,328
営業外費用合計	196,268	209,340
経常利益	1,914,514	2,131,648
特別利益		
固定資産売却益	7,213	9,418
投資有価証券売却益	516,438	—
補助金収入	1,206	5,025
特別利益合計	524,858	14,443
特別損失		
固定資産売却損	681	82
和解金	—	55,419
違約金	1,942	—
その他	1,206	5,025
特別損失合計	3,829	60,527
税金等調整前四半期純利益	2,435,543	2,085,564
法人税、住民税及び事業税	872,349	569,467
法人税等調整額	109,495	90,439
法人税等合計	981,845	659,907
少数株主損益調整前四半期純利益	1,453,698	1,425,657
少数株主利益	8,465	4,973
四半期純利益	1,445,232	1,420,683

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,453,698	1,425,657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△264,200	33,694
為替換算調整勘定	485,369	761,443
その他の包括利益合計	221,168	795,137
四半期包括利益	1,674,867	2,220,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,666,401	2,215,819
少数株主に係る四半期包括利益	8,465	4,974

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。